金木だより

発行所　金木町役場
印刷所　東奥日報社
金木だよりは毎月一回発行になります。部数の都合上どうぞ回覧して見て下さい

外國人の切替登録は
九月二十九日から十月二十八日まで

十月廿日から一週間は『眼』の愛護週間です
町内の各医院ではこの期間中無料で相談に応じますから御利用下さい。

共同募金に御協力下さい

文化の日を記念 "秋のまつり"開く
十一月一日から三日間

『文化の日』にちなみ町当局始め商工会、農協が中心となり開発協会、営農実習場、農改普及事務所及び町民の有志者が一体となり農産物の品評会、商工バザー、生徒作品展示会、芸能発表会、防犯衛生展覧会、写眞展、郵便友の会、生花、菊の展示会等多彩な行事を来る十一月一日から三日間催すべく目下準備をすすめているが同期間中には金木高等学校独立記念式祭及び中、小学校の落成式が挙行されることになつている。

なお農産物品評会についてはつぎの要領で開催することに決定したから農家の皆様には御遺憾なく御出品下さるよう関係者は切望している。

一、会期　十一月一日―三日の三日間
二、場所　金木小学校
三、名称　金木地区第一回農産物品評会
四、区域　金木町、中里町、嘉瀬村、喜良市村、武田村、稲垣村の二町四カ村
五、共催　金木町役場、農業協同組合、商工会
六、後援　県営農事講習場、農農業改良普及事務所
七、出品申込　金木町役場へ十月三十日まで
八、出品物搬入　十月三十一日―十一月一日の二日間
九、種目及び数量
イ、穀類の部　稗粒、玄米、豆類玉蜀黍、そば、栗、柴稗その他（各五合）
ロ、果実の部　りんご、梨、柿、ぶどう（各五個）栗、胡桃（各五合）
ハ、蔬菜の部　大根三本、ごぼう天〆一把、人参五本、長芋三本仏掌いも五本、かぶ五個、里芋五株、たかな五株、南瓜二個、その他菜類五個
ニ、母本の部　株稲三株、拔豆三株、その他三株
ホ、藁工品の部　むしろ、かます俵各二枚、こうり、わらじ、つまで、馬くつ各一足、けら一枚機械織大モッこ一たま、手なえなわ一束
ヘ、加工品の部　澱粉五合、蜂蜜二合、葉煙草
ト、参考品の部　農業生産上参考になるもの
十、輸送其の他出品に要する費は出品者の負担とする
十一、審査の結果により賞状及び賞品を授与する
十二、出品物の即売は原則として行わない。但し出品者の希により審査終了後販売するものとす
十三、出品の申込金木町役場

前号までの掲載分
・目次
・はしがき
・第一章昭和二十七年度予算はどう編成されたか

第1節　歳入予算はどのようにして計上されたか

歳入予算は御承知のように、この町で自主的に調達する『自主的財源』と国からの財源措置である『国庫依存財源』の二つに分けられますが、地方自治の本旨からみまして『自主的財源』即ち『町税収入』が多く『国庫依存財源』である『国庫補助金』や『財政平衡交付金』とか、または『借入金』等少なければ少いほど『健全財政』だといわれ、当町はこの点からいえば全く逆で『国庫依存財源』と『負債』が総収入予算の約六十%を占め、それが年々増加の一途を辿り、今後の町財政運営上まことに憂慮に堪えないものがあります。さて以上のような状況にある町の財源はどのようにいるかと申しますと

（1）町において自主的に確保できる財源の総額は八百六十七万七千四百で歳入総額の約四十%を占め、その主なるものは次のようになります。

町税	七、四〇三、三五〇円
公企業及び財産収入	二〇、四五〇円
夫役及び現品	三〇〇円
使用料及び手数料	二二八、一〇〇円
寄附金	二〇〇円
繰越金	二〇、〇〇〇円
雑収入	一、〇〇五、〇〇〇円
計	八、六七七、四〇〇円

（2）国庫依存の財源は総額が九百二十一万八千五百三十円で歳入中の約四十四%を占め次の通りになつています。

地方財政平衡交付金	五、二五〇、〇〇〇円
国庫補助金	三、九一九、八〇〇円
県補助金	四八、七三〇円
計	九、二一八、五三〇円

（3）町債即ち自主的財源と国庫依存財源とを合わせてもなお且つ不足な歳入を補うための借入金であつて、この総額は三百四十万円となつており、歳入中の十六%を占め、その内訳は中学校第三期工事費六百万円（内三百万円は国庫補助）と公営住宅建築工事費百十二万八千円（内六十万五千八百円は国庫補助）の事業資金の不足額に対するものであります。

以上で歳入総額は二千百二十九万五千九百三十円となりますが、町民の直接負担となつている町税について説明を加えておきます。

町税は昨年度の六百七十一万八千二百八十七円の増額となつていますが、これは固定資産の税率改正に基因するものでそれでも町としては最低税率の『千分の十六』を以て賦課しましたが相当の増額となり、町民税では三拾六万六百八十七円の減額補正を図つたものの、自転車、荷車其の他の諸税の自増が主なるものを科目別に比率を挙げますとつぎのようになります。

教育費	四〇・二四%
役場費	二五・一〇%
社会労働施設費	九・〇六%
公債費	五・九七%
会議費	三・九〇%
産業経済費	三・七七%
消防費	三・七二%

昭和二十七年六月三十日 財政事情説明書（其ノ二）
金木町長　花田一

第2節　歳出予算はどのようにして計上されたか

昭和二十七年度の歳出予算は別表（一）に示す通りでありますが、以下各款の予算内容について申上げます。

▲教育費　総額八、五六九、七六五円を各項別にあげれば、

項目	費用
金木小学校費	七二四、〇四〇円
川倉小学校費	三九四、四二五円
嘉田小学校費	三二六、八八〇円
金木中学校費	五八六、一二〇円
高等学校負担金	四〇〇、〇〇〇円
社会教育費	一四八、三〇〇円
営繕費	六、〇〇〇、〇〇〇円

各校における経常経費は教育そのものに直接影響する面が非常に多いので、大体において学校当局から提出した予算計画書に基いて計上しましたが、健全財政保持の関係上需要費における減額分に対しては教育担当者の教育技術とPTAの御協力により教育の万全を期したいと考えています。

定時制高等学校の予算は二町四カ村の組合立である関係上その所在地であることと利用度により当町は全予算の四十%を負担することになり、その負担額として四十万円を計上いたしました。

つぎの社会教育費は主として広報活動推進のための印刷費、各種の講習、講話会費と体育向上の見地から体育の実技の習得及び理論探究のための体育大会開催の諸経費を見積り一四八、三〇〇円を計上しました。営繕費の六〇〇万円は金木中学校の第三期工事として同校の講堂新築を計画して計上しましたが、今後における起債との関係もあり多少の変更も亦予測されます。

▲役場費　役場費歳出の大半を占める職員の給料及び諸手当の増額は、ベースアップによる自然増加に基くものでありますが、需要費は町財政と照合し極力支出の節減を図り編成しました。以下各項目別に述べればつぎのようになります。

職員給	二、九九七、二〇〇円
旅費	二五〇、〇〇〇円
諸手当	一、〇五七、七九〇円
交際費	一二〇、〇〇〇円
需用費	四六七、〇六〇円
研修費	二〇、〇〇〇円
維持費	一〇、〇〇〇円
報償費	五、〇〇〇円
負担金補助及交付金	四五一、八二八円
計	五、三七八、八七八円

▲社会労働施設費　従来社会費の重要部門を占めていた生活保護費が生活保護法の改正で社会福祉法に包含され総合的な計画の中にもられることになり市町村取扱いの保護費の給与が廃止され福祉事務所の所管事項となりました関係上本年度の予算面から保護費は削減されました。

しかしながら昭和二十六年十月一日児童憲章が生れこれに基く児童福祉法により要保護児童に対して地方公共団体の責任が明示され措置児童に対する保育施設の必要上保育所設置の予算を計上致しました。

公営住宅費については現下の住宅難に対処すべく昭和二十九年度までに五十戸の建築を予算し計上してみましたがこれの資金面については補助金及び借入金等の関係が

公営住宅補助金	一〇、〇〇〇円
保育所費	六六四、七六五円

▲公債費　公債費は御承知のように町の借入金に対する元金の償還と利子の支払いに要する費用で起債の増額に伴い昭和二十六年度に比し四七九、六〇七円の増となり本年度一、一二七、四〇九円を計上いたしましたが、まことに憂慮に堪えない次第であります。

この内訳は次の通りになつています。

元金償還金	一三、三〇四円
利子支払額	一、二二五、五〇五円
一時借入金利子	三三、六〇〇円

◎当選委員に喜びと抱負をきく

十月五日（日）に執行された町教育委員会委員選挙に当選した荒関泉谷、福士、新岡の四氏に〆当選の喜びと抱負〆をお伺いしてみましょう。

荒関　豊七

その一、…委員会は、教職員に対して権威を与える様なものあつてはならないと思います。却つて教職員を擁護し、これに安定感を与えることを主要努力事項とすべきだと思います。

その二、…金木町内の五校に対する委員会の態度は飽くまでも部落根性を棄てて中正不偏一親同仁の立場で行きたいと思います。

その三、…新設金木町外二町四カ村の組合立金木高等学校の校舎の新築を速やかに実現したいものと念願します。

右三項の外、所謂六三制堅持の建前から、中学校長場穴席児童の解消と、各学校教育を通じて、道徳教育の面を一層強化して然るべきと痛感する者でございます。

泉谷　柾太郎

家庭の多忙から屈出後も出馬を強く拒否する老父と熱誠をもつて推せんしてくれる人々に完全に板挟みにされて随分苦しい数日を過しました今になつて感慨無量です。

私個人としては昭和二十二年PTA発足以来学校にお邪魔する度に教育の重要性わけても学校の先生方のなみなみならぬ労苦に対し深く感謝の意を抱いていた一人なのであつて今回の教育委員当選には身の程も忘れ本当に感激で一杯でした。

一方町民各位の御支持に改めて厚く御礼の言葉を心から申上げるものであります。

選挙当日は稲刈のため投票開始を今や遅しと待機して学校の入口から外にはみ出して居る長蛇の行列に驚かざるを得ませんでした。またお寺参りにも出れない超老人組が好天とは申せリヤーカや荷車に乗つてやつてくるのを見かけては教育身重以外の何ものでもない実感に興奮せざるを得なかつたわけです。就任後はこの感激や興奮を大切に保持して専門家の意見を立て一般父兄の声を敏感に集めて重責を果したいと思います。

教育の事は兎角忘れ勝ちです。幸い新しい委員の中に自治体の元老格の方が二人列席されますので御指導を受け全国的要望である親しみ深くも実質のある委員会建設に僅かな努力を捧げたいと思います倍旧の御鞭撻をお願いして止みません。

福士　勇

十月五日の金木町教育委員会委員選挙当日は気清く澄み渡る秋晴れの好日和り、ただの一分たりとも惜しまるる文字通りの御いそがわしい中から時間を繰り合して、われわれ自身が責任をもつて国民の教育に当るという根本の理念からして『この一票で子供たちの教育に責任をもつ』という確固たる御信念のもとに、投票しなされたことに対しましては、満腔の敬意を表する次第であります。

開票の結果、不肖私も当選の列に加わつたのであります。御承知の如く教育委員会は、教育専門家である教育長や、指導主事を別に置くのである必要はないにしても、社会人として人格、識見、地域社会の向上発展に貢献しうるような公正な人が要望されるのでありましょう。然るに私は以上の何れにも当てはまらぬにも拘わらず、私を当選させて下さいました町の皆様が、さぞや私が長い間教員をした関係上、年取つた今日でも児童や生徒の教育上のことを語るのが、彼が唯一の楽しみでもあり、それが彼に取つての老後悠々自適の道であるに違いない。この際一つ彼を楽ましべく、そして多少たりとも町教育に尽してもらうという、いとも寛大な厚き御温情の格からして教育が不当な支配からもとに保護して下されたことと思えば、唯々感謝感激の外はありませぬ。今後は教育委員会を市町村にまで置くという法律の目的たる『公正な民意により地方の実情に即した教育行政を行うため』とあるからに、町皆々様の御意志を尊重し、民主的基盤の上に立脚し、青少年の未来を築く大切な仕事にたずさわる立場に置かれてあることを体得し、出来得るだけ金木町の実態に即したる教育行政に、はたまた道義の高揚に、他の委員各位の驥尾に附し明朗なる気分で、微力ながらも誠意を捧げ努力したいと存じて居ります。どうか町の皆々様には一段の御指導と御鞭撻をして下さいますよう、ここに謹んで御礼を申上ぐると共に、今後のことについて御願い申上ぐる次第で御座います。

新岡　千代二（正海）

当選の喜び……それア嬉しいですネ……これからの抱負？……別に大げさにいうことはありませんが結論として法の第一条の精神の具現実行ですネ。つまり委員会の性格からして教育が不当な支配にはありますから、これが実現を図るには相当の困難があることは申上げる迄もありませんが皆様の御期待に副うべく努力致す所存であります。

社会労働施設費の各項について申上げれば次の通りです。

民生委員会費	一七、五〇〇円
福祉授護費	二〇、〇〇〇円
営繕費（公営住宅新築）	一、一二八、〇〇〇円
公団費	一〇〇、〇〇〇円
保育所費	六六四、七六五円

護るべきです。殊に委員会のなすべき仕事は数多く任務も重い。それがためには常に是は是、非は非と公平無私であるべきだと思います。従つて法そのものにも検討を加える余地があると考えています私の人生の目標とする言葉……

それは

道は直きに清く、熱は義にして
信は力なり……です。

いやしくも教育には妥協があつてはならないし従つて政治的なニュアンスを排除すべきであり感情によつて動すべきでもなく一方的なもののためにも服すべきでもないと思います。若しかかる事態が生じたとすれば私は私の人生目標に従つて行動するでしょう。

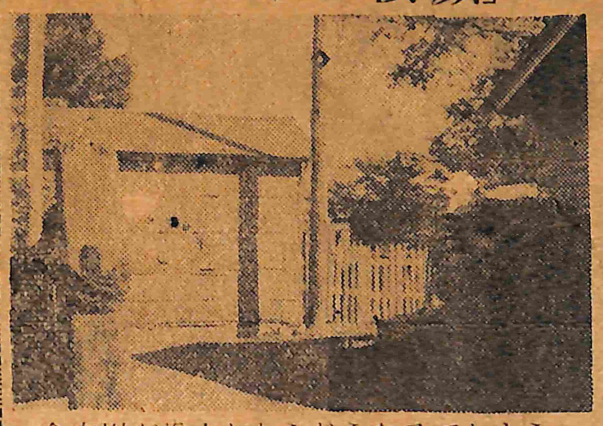
特に町の指導者諸賢に望みたいことは自己の打算的な態度から脱却して町民総和のために御協力下されることを切にお願いいたします

子供には夢を
先生には誇りを
町民には感謝を

そこに憂されるべき委員会が誕生することになるでしょう。

（いずれも原文のまま）

「我が町の横顔」



金木川が増水したらどうなるでしよう
(川端町熟の湯角)

『金木』という文字を『易学』上から解剖してみれば『木』の性であると或る人が申していた。

わが金木町は他町村の者に『活気のない町』だとか『眠つている町』だなどとよくいわれる。甚だ面白くないことではあるし、そういう人たちには『あなたは金木という町をよく知らないのですよ』と一応体裁をつくつてはみるものの内心は全く自信がない。

『易学』上から解剖してくれたその人は『火をつけなければ金木というところはなかなか燃えませんよ。火のつけようにもいろいろあるけれど』とニヤニヤしていた。全くシャクにさわる。

五所川原は焼けても焼けてもあの通り素晴しい発展振りだ。

そうかといつてマサカほんとの『火』をつけて燃やしてしまうワケにもゆくまい。

さて余談はこの位にして一体金木町はほんとに眠つてしまつた町なのでしようか。

皆様これから私と御一緒に眠つている静かな町といわれる『我が町』を散歩してみたいとお思いになりませんか。小高い丘にチヨコンと眠つている町、遠くから眺めればお姿のある夢の町のようにみえる我が町。

『嬉ですよ……衛角気持よく眠つているのに……それに今日は少し寒いですよ』だつて……

さあ皆さんそんなに引込んでいないで少し散歩してみましよう。

外は現実の風、なるほどこれは寒い。やはり散歩よりも家の中がよさそうだ。

『オツト、、、ここがいいぞ……家も大きいし金もたんまりありそうだ』

○飛び込んだところ……

それは町でも一番大きい『金蔵』をもつているお家でした。

○これが今日の本当の目的です。皆様夢ならぬ現実の世界の銀行の門を先ずたたいてみることにしましよう。

『金融界』にはつぎのような要領でお伺いしました。

1、九月は全面的に金詰りというがどうか?。
2、金(通俗的な意味)は一体どこに集つているか?。
3、利用者について。
(イ)対象としているものは?。
(ロ)各階層の利用度は?。
(ハ)どんな目的で利用しているか。
4、預金について。
(イ)増減の傾向は?その原因。
(ロ)利用者別の預金の仕方。
(ハ)利用者別の預金の割合。
5、払出について。
(イ)増減は?その原因は?。
(ロ)利用者別の払出の状況?。
(ハ)利用者別の払出の割合。
6、貸出について。
(イ)どんな人が借りにくるか。
(ロ)利用者別の割合。
7、金融機関として資金面で一番困る時期は?。
8、金木町の経済の基盤による階層(業種)はどれか?。
その経済的な向上策は?。
それに対して金融機関は何か考えているか。
9、助成してゆきたい業種は何か
10、税金の未納は、相当多額になつているがどう思うか。
11、金木町の将来性は?。
向上発展策は如何?。
さて以上の『お尋ね事項』にはどんなお答えが出ましたでしようか?。

各業界を訪ねて(その一)

▲青森銀行金木支店
1、今年の九月は終戦後もつとも甚しい。
2、商人(金融機関は別として)但し正確にときかれれば解らないと答える外ない。だが現在金に一番縁をもつているのはなんといつても商人だろう。
3、(イ)商工関係を対象にしているけれど現在の所商店はほとんど利用していない。
(ロ)主として木材関係で農家は供米代金関係が対象、農家に対しては昨年の三倍額を融資している。(農業手形)
(ハ)金を借りるのが目的で利用する者が多い。
4、5、当町は農家が主体となつている関係上例年十一月ー三月までは殖え四月から逐次減じて九月が最高に達する。(預金は昨年より五十%減)それ故預金については新米に出廻期に期待をかけている。
6、3と同様
7、七、八、九月今年は特に九月
8、農業が基盤である。
農家はもつと計画的な経済生活をしなければいけないと思う。
9、商工業関係。
10、農家が町の経済基盤となつているから8と同様。
11、お客さん吸収の宣伝をするよう商店界に望みたい。

▲金木郵便局
1、2　青銀支店と同様
3、4　(イ)大口、小口とも各層を対象。
(ロ)大口は銀行、信用組合、農協に吸収され主として零細貯金者の利用が多い。従つて中産階級以下の堅実性のある人が多くそれを大別すれば。
○サラリーマン　昨年今年とも月に四千ー五千万円。
○主婦　ひそくり貯金が多く今年は月に五ー十万円。(昨年四十ー五十万円)
○学生　学校貯金として月に五ー六万円。
○農家　余り金を持つている人が利子が安くても安全な所にいう意味で利用するのが大部分で十一月から三月までは月に一〇〇万円位の預金があるが他月はほとんどない。
○商人の利用全くない。
5、実態は不明であるが概わぎのような傾向である。
○サラリーマン　主として冬入用のとき払出す。(最も計的である)
○主婦　子供其の他臨時に必な時。
但しサラリーマンとともに在は月始めに預金し月末には都払出してしまうという状態ある。
○農家　生活費の足しとする、九月頃になれば殆んど残がない
保険について
終戦時から一昨年までは興かなかつたけれど昨年頃から貯金はしなくても保険だけで加入するという者が多くなつ。

▲弘前相互銀行金木支店
1、青銀に同じ
2、銀行、商、工、林、農の順
3、(イ)現在までは商工業者が主体今後は農家も対象としたい
(ロ)商店関係　六割
農業関係(倉庫業)　二割
木材関係　二割
○昨年はブローカー式の者の利用が多かつたが今年は堅実な商人の利用が多くなつた。
(ハ)零細預金者のほかは全く借りる目的の者が多い。
4、八月から九月にかけてよくなつている。
5、3の(ロ)と同様の傾向。
6、右に同じ。
7、銀行としては昨年より楽だ。
九月もさほど苦しくない。
8、やはり農業である。もつと農家には利用してもらうと共に当行としても生活資金の融資も考えている。

▲津軽信用金庫金木支店
1、青銀に同じ
2、商人である。農家が最も苦しい。
3、(イ)商工業者(主として小売業)　(七割)
(ロ)
小売業者　(一割)
製材業者　(〇・五割)
飲食店
食糧製造業者
その他は全く利用者がない。将来は零細業者及び農家を対象とする。
△現在のところ紳士的で石橋式の確実な人が利用している。その点中里、薄市方面の利用者は金をつかめばいい主義の人が多い
(ハ)借りる目的で利用する人が多い。しかしながら、金木の人は返済の易過しをつけば借りという堅実さをもつている。
4、(イ)他と同じ傾向で減少している。
但し月末に期待をかけている。
(ロ)(ハ)利用者のほとんどが十割預金である。
5、(イ)満期払出であるから増加している。
(ロ)(ハ)満期になれどほとんど払出してしまう。
6、(イ)(ロ)とも利用者と同じ。
7、八、九月
8、弘前相互銀行と同じ。
11、昨年でたばかりでどうだということは難しいけれど発展性はあると思う。但し現在の所。
イ、各業者が消極的で活気がない
ロ、飲食店が景気よく見える。娯楽施設がないので、飲む外に楽しみがないようだ。
ハ、商人はまとまりがない。
二、向上発展策は?芦野公園駅を廃止しては如何?。

▲金木町第一農業協同組合
名の如く特殊な金融機関である。
1、2、青銀に同じ
3、(イ)申すまでもなく組合員(農家が主体)
(ロ)供米代金の一時預入れの程度。
(ハ)(ロ)の場合のほか中農家以上の人が借りる目的で利用する。
4、(イ)供米代金のみ取扱つている関係上昨年の分は一応預金という形だつたが今年は下まわるだろう。
(ロ)(ハ)計画的に預金しようという人は全くなく払出しも無計画。七、八月までは大部分の人が払出してしまう。
5、(イ)中農家以上の人。
小農家は借りても返せないと自覚してほとんど利用しない。利用者の大部分は生活資金として借りてゆくほか家屋の新築または改築(最も件数が多い)その他結婚(相当多額である)や病人が出た場合で葬祭の場合の利用はない。
8、勿論農家である。
農家の収入の大部分が米代金であるから指導者にはこれを念頭において対策を練り指導して戴きたい。農家自体の計画的な生活は勿論のこと常時収入のある副業の奨励もその一つである。
なおこれは貯蓄面でのことだが目的貯金、例えば納税貯金とか肥料貯金、農業貯金、災害貯金等に分けこの分だけは必らず預金し生活資金というものは別に自ら調達するようにしたら面白いのではないだろうか。
10、農家の場合は申告によるものだから『納められない』ということはないはず。
今日一日の金融界の訪問……非常に有益なものがありました。これを総合してみますと
一、何れも金木町の経済を左右するものは農家であり、町の発展向上は農業の振興にありと結論し、金融界では農家の経済生活にまでも関心を持つていることが分りました。
その次には
二、我々の懐中は非常に淋しいものの『物』の時代が過ぎ『金』の時代になりましたことは申上げるまでもありませんが乏しい中からも計画的な経済生活をし始める人が次第に殖え生活態度がはつきりしてきたことです。
これが又『活気のない町』『眠つてる町』とはいわれているものの非常に堅実な歩みをしているということの立証になりはしないでしようか?。
以上は今日一日の收穫だが果してこれは『我が町』の本然の姿とみることが出来るでしようか。
私達はまだまだ歩き続けねばならないのです。
皆様!!この次はどこをお訪ねしたらいいでしようか?

◇…△……▽…◇

○町民のみな様『わが町の横顔』を今一度眺めてみましよう。そして御意見がありましたら写真を添え御遠慮なく御投稿下さい。(広報係)

◆…▲…▼…◆

・註　津鉄道橋から三軒町桑林鉄道鉄橋までの間右岸のみで護岸工事費は約一億円かかる見込みである。

▲希くばたつた五〇ミリメートル位の『水』に流してしまわないようにしたいものだ。(SK生)

◇…△……▽…◇

『歴史の発祥は河川から』といわれているが、わが町の南を流れる金木川の姿、それは原始河川とみていいだろう。

昔り姿…それはわれわれ現代に生きている人々にとつてはなつかしいものである。

遠く古郷を離れてふと思い出すわが町、また異郷からわが町に一歩足を踏入れたとき、否それはかりではない。四季を通じて静かなひとときを散策に求めた時にわれわれの眼に映るわが町の姿、それはどんな風にわれわれの胸をうつだろうか?。

『金木川』それはわが町の生命であることは誰方も御存知の筈。

その金木川がひとたび荒れ狂つたならば……

▲金木川の…それは雨が四〇ー五〇ミリメートル以上降つたときである。大河川の二〇〇ー三〇〇ミリメートルまでは及ばなくともせめて数百町歩の美田と河岸に居られる町の皆様がこの難を避けられたら……

▲戦争中の国有林の乱伐が主因であるといわれてはいるものの、金木川の場合はそんな呑気なことはいつていられないのだ。

△町長はこのことには早くから気づき一刻もはやく土堤を築かねばならぬと関係当局に何回となく足を運び近くこれが陳情のため県河港課長と共に上京し『狂う金木川』の護岸工事の実現を促進することになつているとのこと……

序文に模倣して

高橋良次郎

現代文化である。果して学窓の人生観は時代思潮に肯定涵養し豊敢えて平和文化に同化すべきは民族的使命必然性である。

いわゆる芦野は校花の国学府の修養道であり況や全山ことごとく花天月地にして芳花あり芳効あり運動場あり終日快哉を叫ぶ恰てあると思う。

夙に老生は芦野の人となり郷土に憧るる思出は『金木だより』一の余白を借り詩史をのせ挨拶の詞とす。

漢詩は仄韻もなく詩として見るを要せざるも幸に御了承を賜らば幸誠に堪えざるべなり。

高橋良次郎敬具

昭和二十七月十月

題　花田町長祝詞　七言律散文

日夙仰徳行星哉
五常神髄則命也
況為政史上賞乎
政務昭々芳内外
崇背自治周仁愛
安行政化助々乎
汎愛唯々和民心
清風明月将仁哉

花田町長には平素仁政を布く人格者である。民衆よりは何程か敬慕せらるるは勿論自治的行政は緩和的に治化し助々乎たる現実性である。夙に聞く町長の愛他主義は所謂民心の和調ならしむる統一性である。坐に憶う実兄の役場時代村制当時の史上を編き想起するに今を去る三十年の歳月町制文化の能率化は意外に増進した。帰するに花田町長には汎愛主義であり、優々たる理性より統一された人格的福祉であり、つねに讃仰すべきであると思う。

題　金木川之風光　七言律散文

洗洋滾々巡南端
源泉奇渉流幽谷
朝日橋町在南方
下流岩木川支流
鶯吟晴々笑柳条
清景[illegible]々洗心情
江月淡加意沙訂
豈清調吟詠情坐

金木川は古来数百年前史上瞭々たる物語りがある。水源を聞くに天倉山其山麓より森々たる潤声滾々として山紫水月の観あり、主うに清泉流るる朝日橋より街区を眺に豁然として文化生活あり津々浦々には文化村あり、安そ其風光を嘉すべきである。下流は岩木川に交流し洋々たる日本海に流れ絶海に入る。

題　芦野公園之観桜　七言律散文

春山渺茫花爛漫
十万行人埋芦野
湖上洋々加春海
水天髣髴巡水郭
山紫水明鶴舞里
芦野名物月今宵
杜鵑一声鳴彼処
半夜巡舟賞湖心

芦野公園の記銀を見るにその風光の絶景なるは清幽風景の十位であるは今よりことと思う。その後松林あり校林あり洋々たる湖水あり津軽名所に詠う絶好の地である。例年観桜会には十万行人芦野を埋むるの盛況ある。

花天月の宵芦野に遊ぶは人生観を叫ぶ楽天主義である。全山悉く花の影あり霞のようである。愛嬌朗乎として華顔の如しとは花を呼ぶ刹那主義である。右に左に花見小袖の新内流し眞に美なるかな、愛なるかな。

吟詠一除オーシャンを侑むるあり君爛醉なるや宛も落花の如しといふべきだ。半夜月に抱かれ湖畔の宴に行かう。

題老後良次郎之詞七言律散文

左恰々七十九年
半生歳月遊帝都
晩節甘帰臥奏老
松籟颯然浪月下
清泉滾々流池頭
甘楽之憂恩一期
嗚呼如邯鄲之夢

今より卅五年前温然として帝都に遊ぶ時代思想に憧がるる研学的批判観であつたが、恰も邯鄲之夢であり、アア理想の歳月空しく鳴田河原に流るる霞月夜であつた感慨

筆者の略歴

明治七年生、当地小川町にて旅館金城館(現在の加賀屋金物店)を経営、後談路法学博士の手引きにより日本動産保険会社の仙台及び札幌支部長、大正海上火災保険会社東京勤務となり三十五年間を東京で過し終戦後二十四年に帰郷現在に至つている。

定時制分校の昇格決る

初代校長には中谷洲男氏

十月三日県教委定例会で金木外七和、今別の三定時制分の独立校昇格が正式に決定、同日初代の金木高等学校長には当町川倉出身の中谷洲男氏が発令された。

就任の挨拶

金木高等学校長　中谷　洲男

戦後学制の改革によつて新しく誕生を見ました新制中学校に私はその初めから現在まで勤務いたして居りましたが、毎年晴れの卒業生を出すに当つて考えますことは、これら卒業生のうち、さらに進んで上級の学校に入学し、より高い教養を身につける機会を得るものは一部の者に過ぎず、残りの大部分の生徒はその機会に恵まれない何とかしてこれらの多くの卒業生に同じく教育の機会を与えてやりたいということでありました。

しかるに金木町におきましては教育の機会均等の趣旨に則つて昭和二十三年多大の犠牲をも省りみずここに県立五所川原高等学校の定時制分校を設け、働きつつ学ぶ者のために教育の門戸を開放されましたことは教育界に身を置く者の一人として私の誠に欣快とするところであり、深く感謝に堪えないところであります。しかも学校は年とともに益々拡充発展の一途を辿り、今年はまた附近町村の理解ある御協力を得まして組合立高校に発展し、今回県下唯一の組合独立定時制高等学校に昇格して新なる出発を迎えましたことは関係各位のお喜び察するに余りあり私もまた衷心より祝意を表する次第であります。

今回図らずも不肖の身を以つてこの発展途上にある金木高等学校の名誉ある初代校長を拝命致しましたが、浅学菲才果してその重責に堪え得るや甚だ疑問とするところであります、然しながら我が郷土教育界並びに地域社会の発展のために万分の一なりとも御恩報じを致したい微意から喜んで赴任致した次第であります。

幸に御理解ある金木町並に関係町村各位の御熱心なる御指導御鞭撻と好意溢るる御協力によりまして大過なく職責を果し得ますよう偏えに念願致して居ります。

何分の御援助を御願い致します。ここに紙上を拝借致し一言着任の御挨拶を申上げる次第であります

中谷新任校長の略歴

△昭和二年東洋大学専門部卒業、同年金木第一尋常高等小学校奉職、昭和三年県立八戸水産学校教諭、昭和十一年県立五所川原農学校に転任、昭和二十二年まで奉職、同年三月町立金木中学校長、同青年学校長、同女子商業学校長兼任、昭和二十六年五所川原中学校長に転任、去る十月一日附組合立金木高等学校長栄転の発令となる。

秋の清掃運動

十月二十日から一週間

全国的に行われている"秋の清掃運動"に呼応して当町でもつぎの要領に基いて実施することになりましたから御協力下さい。

一、目的　町民の協力により清潔で住みよい生活環境をつくる

二、名称　秋の清掃運動

三、期間　十月二十日から一週間

四、実施区域　当町一円

五、主催　青森県、金木町

六、後援　日本赤十字社青森支部

七、実施事項

その他各種団体

（1）宅地及び家屋内外の清掃（特に敷物等を日光にさらし畳下、床下に殺虫剤の散布、台所の衛生的改善、家屋周囲のゴミの完全な処理）

（2）蠅族、昆虫等の発生場所の除去及び駆除

（3）排水溝、下水、井戸みぞなどの清掃。

（4）あらゆる種類の畜舎の清潔清掃（そこから出た汚物で混合肥料を作る）また清掃後畜舎に対しDDT油剤を『残効果』方法で噴霧する。

稲刈りのトップ

沢田　新岡の両氏

『早刈りは藤田』といわれていたが、本年は沢田長六（若松町）新岡千代一（神明町）の両氏が九月四日にはともに菅原田に植付けた北海道早生（水稲）の刈取を始めた。早速訪れて感想を尋ねれば両氏とも

『今年始めてこの品種を植えてみたのですからはつきりした結果は未だ判らず何んとも申されませんけれど天候が順調であればもう一一二週間は早く刈取れるのではないかと思います。……植えた動機ですか……別にこれといつてありませんが、何しろ毎年今頃になればお米が無くなりその上お金も詰つて……これを植えて特別……長所も短所もよく分つておりますがやむを得ません。二毛作はしませんけれど来年もまた植えます』と

【写眞＝新岡氏の稲刈りのひとときと、円内は沢田氏】

町の象徴

第一位は寺町一戸氏

かねて懸賞募集していた"町の象徴"となるべき『マーク』の図案は審査の結果つぎの通り入選者を決定した。

第一位　一戸　哲三氏（寺町）

第二位　浅木　哲郎氏（栄町）

第三位　なし

第一位入選作の図案は選後直ちに去る八月二十三日挙行の納税表彰式に記念として授与した手拭に染め抜いたほか金木町を象徴するパッチとして採用することに決定。目下製作を依頼中である。（写眞は第一位入選の図案）

図案の説明

一、中央の円形は金木の二字をもり、上部の切割と円形を芦野公園の桜の花弁の一片とみなし共に咲き共に散る。即ち懇喜を共にする共存共栄の精神を意味する。

二、下部は六枚の翼であつて、これは金木を構成する金木、川倉、藤枝、不動林、田、神原の六部落を表わし、共に協力して雄飛発展せんとする翼である。

自作農貯蓄組合を設立

皆さんの加入を待つてます

当町では本年三月より政府から農業委員会を通して約百二十万円の融資を受け譲渡方式による自作農創設の維持資金として農家の皆様の便宜を図つてまいりましたが融資の形態及び資金枠に制約された十分な効果をあげることができませんでしたが、このたび農家の皆様自身の覚と御協力によつて町長を委員長とする金木町自作農貯蓄組合が設立されることになりました。

組合員にとつてはつぎのような恩典があります。

❶貯金額が十万円まではその利子について所得税は賦課されない。

❷政府は貯金の十倍乃至二十倍の融資をする。

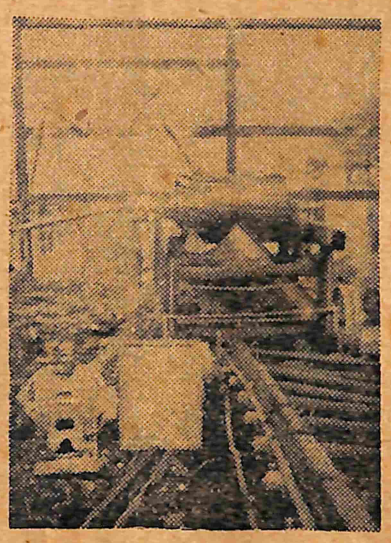
❸賞利組合でないから組合費は徴収しない。

❹組合長に申出で自由に組合に加入又は脱退することが出来る

以上の恩典はありますが政府からの融資は組合員でなければ受けられないことになつていますから一人でも多く加入されるようにおすすめします。

モーターの過熱で綿工場を焼く

去る十月三日午後四時半頃金木町大字金木字沢部二三三番地角田政太郎（六三）経営の綿工場が綿打作業中モーターの過熱により綿屑に引火し全焼した。損害は建物（二十坪）機械その他約七万円である。



（写眞は発火点の現場）

教育委員"選挙の結果"

当落	得票数	氏名
当選	七二九票	荒関　豊七（七〇）
〃	六八六〃	泉谷柾太郎（三八）
〃	六八五〃	福士　勇（七三）
〃	六二〇〃	新岡千代二（三四）
次点	三五〇〃	小山内俊二（三八）
	三四七〃	沢田　悦蔵（四四）

有権者総数　四、一八三人

投票者数　三、五〇九人

棄権者数　六七四人

投票率　〇・八三九

皆さんの教育委員はこんなことをします

一、教育委員会の組織

1、町の教育委員会（単に委員会という以下同）は五人の委員で組織する。

2、内四名は住民の投票により選挙されたもの、他の一人は町議会の議員のうちから議会で選挙されたものである。

3、委員の任期は四年とする。但し最初の教育委員の選挙については、当選されたものの内得票の最も多い者から順次任期四年委員二人任期二年委員二人を定める。

議会から選挙された委員の任期は議員の任期中とする。

4、委員の選挙権を有する者は委員の解職の請求をすることが出来る。（地方自治法準用）

5、町の教育委員会は昭和二十七年十一月一日に成立するものとする。

二、教育委員会の会議

1、委員会は委員の内から委員長及び副委員長一名ずつ選挙する委員長及び副委員長の任期は一年とする。

2、委員会の会議は委員長が招集する。

3、委員会の会議は定例会及び臨時会とす。定例会は毎月一回臨時会は必要ある場合にその事件について招集する。

4、会議の定足数については在任委員の半数以上が出席しなければならない。

5、委員会の会議はこれを公開する会議の議事は出席委員の過半数でなければならない。

三、教育長及び事務局

1、教育委員会に教育長を置く。教育長は教育委員会が任命しその任期は四年とする。

2、町の教育委員会の事務局には委員会規則の定めるところにより必要な部課を置くことが出来る

四、教育委員会の事務

教育委員会は法律に定める権限を行使するために次に掲げる事務を行う。

一、学校その他教育機関の設置管理及び廃止に関すること。

二、学校その他の教育機関の用に供し又は用に供するものと決定した財産（教育財産という以下同じ）の取得管理及び処分に関すること。

三、教科内容及びその取扱に関すること。

四、教科用図書の採択に関すること。

五、教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他人事に関すること。

六、学校その他の教育機関の設置及び変更並びに校舎その他建物の営繕保全の計画及びその実施に関すること。

七、教具その他の設備の整備に関すること。

八、教育委員会規則の制定または改廃に関すること。

九、教育委員会の所掌に係る歳入歳出予算に関すること。

一〇、教育目的のための基本財産及び積立金の管理に関すること

一一、教育事務のための契約に関すること。

一二、社会教育に関すること。

一三、校長教員その他教育職員の研修に関すること。

一四、校長教員その他教育職員並に生徒児童及び幼児の保健福利及び厚生に関すること。

一五、学校の保健計画の企画及び実施に関すること。

一六、学校環境の衛生管理に関すること。

一七、証書及び公文書類を保管すること。

一八、教育の調査及び統計に関すること。

一九、ユネスコ活動に関する法律（昭和廿七年法律第二〇七号）に規定するユネスコ活動に関すること。

二〇、その他その所轄地域の教育事務に関すること。

昭和27年度当初予算

附録別表（二）

歳出

区分	昭和27年度予算額	昭和26年度予算額	比較増数
議会費	835,049円	474,630円	360,419円
役場費	5,378,878	3,860,785	1,518,093
警察消防費	793,325	2,574,864	△1,781,539
土木費	458,000	449,900	8,100
教育費	8,569,765	7,145,050	1,424,715
社会労働施設費	1,930,265	2,086,050	155,785
保健衛生費	308,745	229,780	78,965
産業経済費	804,245	558,572	245,672
財産費	279,936	84,600	195,336
統計調査費	54,000	54,000	0
選挙費	52,900	130,990	78,090
公債費	1,272,409	792,802	479,607
諸支出	170,500	214,989	△ 44,489
地方振興費	143,000	—	143,000
予備費	244,913	148,250	96,663
合計	21,295,930	18,805,262	2,490,668

註　△印は減額を示す

◎就学前の子供の——教育について——

就学前の子どもの教育問題は最近特に強く叫ばれるようになつてきた。

この時期こそ子どもたちの、その後の行動の型式と、後に発達するそれぞれの人間の特長の基本がかたちづくられる最も重要なものだからである。

去る九月十八日金木地区教職員組合の（金木、嘉瀬、喜良市、武田中里、内潟の六カ町村の学校）教育研究大会の際にも『学齢前児童の生活実態とその教育問題』の一項がとりあげられ貴剣な討議が行われた。次にその重な点を拾いあげてみると

一、（イ）先ずこの地域の子どもの生活実態から話合が始められた＝適当な環境、よい躾がなされなければならないのに＝

●家庭において殆んど放任されている。

●おもちゃや絵本も父母の考慮が払われずに与えられている。まとまつたものはほとんどない。

●紙芝居、映画も必ずしも望ましいものばかりでない。＝強盗でつこ、ギャング、ホターザン＝

●農繁期における事故。＝水壁、火あそび＝

●人手の少い家庭の子は欠席あるいは子守をしながら登校し、学習がさまたげられている。

『……もしもこの子が（乳吞子）いなかつたら……』

●礼儀作法がわるい。

●衛生的でない。

●経験が少い。（組立、分解、作る、断つ等）

●知的な差が甚だしい。（ひらがなの全部かける子、名前もかけない子）

二、改善すべき点

何と恐ろしいことばでしょう単に児童のものとして見逃すことのできないものである。

（ロ）小学校に入学当初の児童は

●依頼心が強い。

●我が強くて社会性がない。（他の子どもといつしよにやつてゆけない）

●家庭においてはあかるいあこがれの面を子供にみせべきである

●親の虚栄心から童心をいためないようにしたい。

三、課題

●幼児の保育施設の設置と少くとも入学前児童一年を義務制とする積特的な運動をする。

●家庭においてはあかるいあこがれの面を子供にみせべきである

●親の虚栄心から童心をいためないようにしたい。

●幼児の教育は両親の責任である家庭の合理化＝子ども中心の家庭にすべきだ＝

●幼児の教育施設は一部の人たちに専有されていた。より多くの幼児が喜び、幸福に近づくようにしたい。

●既設の幼稚園、保育所には父兄から知的な面が強調され過ぎていた。

●さらにこれらの保育施設は一部の人たちに専有されていた。より多くの幼児が喜び、幸福に近づくようにしたい。

●幼稚園と保育所を一本とすべきである。（田村生）

産業教室

家畜飼養者へ

金木家畜保健衛生所では左記により家畜の駆虫を実施しますから指定部落の家畜飼養者はそろってお出で下さるよう切望します。

実施月日　部落名　家畜名

十一月
三日―四日　川倉　馬、緬羊
　　芦野　馬、豚、緬羊

（金木家畜保健衛生所）

家畜の保健と寄生虫

家畜の寄生虫病は伝染性疾病として家畜に甚しい被害を及ぼしているに拘らず慢性で極めて緩慢に蔓延する関係上一般に軽視されている傾きがあり、我が国においては他の急性伝染病により受ける損害と寄生虫病より受ける損害の大小を俄に結論することは難しいことではありますが、実質的には寄生虫病の損害が大きいといつても見当違いではないと思います。従つて寄生虫病が緩慢であるということこそ眞に家畜の保健上見逃し得ないところであつて家畜飼養者諸氏に特別なる関心を喚起する次第であります。

家畜の寄生虫といつても、体内寄生虫（蛔虫等）と体外寄生虫（虱蚤等）に区別され、その種類が多いのと被害の多いのは前者の方でありますが次に簡単に体内寄生虫特に金木地方の家畜にみられる消化器内寄生虫について述べてみましょう。

一、家畜別寄生虫について

家畜名　寄生虫名
馬　馬蛔の幼虫、馬蛔虫、馬用虫
　　捻転胃虫、腹結節虫
緬羊山羊　豚蛔虫、豚鞭虫
豚

二、被害状況

1、寄生虫が生きてゆくため又は子孫を殖やしていくために家畜がとつた養分や血液を吸いとつてしまう。

2、寄生虫は家畜の体内をあちこちあばれ廻る性質をもち、腹や臓器を破つたり、穴をあけたりして出血を起させ、時にはその傷口から細菌が入りこみ重い病気をおこすことがある。

3、寄生虫がだんだん殖えると腸管の中で大きな塊をつくるため腸をつまらせる。

4、毒素をもつている寄生虫（蛔虫十二支腸虫）は家畜の体内で毒素を出しいろいろな中毒症状を起させ、そのために家畜は胃腸をこわして下痢をおこし、折角よい飼料を与えても仲々ふとらないで次第に痩せてしまい、毛つやが悪くなり、体は衰弱してきて抵抗力がなくなり、いろいろな病気にかかりやすくなる。

三、主なる予防法（後日詳述）

1、幼動物の組織的駆虫

2、畜舎の清潔、乾燥

3、糞尿の急速な除去と堆肥の醗酵熟の利用による仔虫の殺滅

（金木町家畜衛生保健所）

傳貧厩舎は消毒しましよう

当町の伝貧疑似症は三十四頭という数にのぼりました。馬の所有者は次の要領で厩舎を消毒しましよう。

●畜舎の土の消毒

表面に消石灰又はクロール石灰を撒布した上で一尺程度の深さに掘起しこれを搬出した後又消石灰、クロール石灰を撒布すること。

●畜舎の床壁隔板馬せん棒の消毒

先ず消毒する箇所を熱湯で洗い、その後ロジール一本を入れ八升程度に薄めて撒布しブラシ等で清拭する。消毒後家畜を入れる場合は床面等が乾燥してからにすること。

●飼槽の消毒法

熱湯で三―四回消毒すること。ロジールは使用せぬこと。

●馬具及び手綱の消毒

フオルマリン消毒を行う。それにはフオルマリン一に対して水三四の割合で薄め十分撒布するか液を容器に入れてそれに一日程度浸しておくことが理想的、ロジールは使用せぬこと。

●敷わら厩肥の消毒

これは醗酵消毒をすること。

巾三尺から六尺、深さ七寸、長さは適宜に溝を掘りこの中に消石灰（生石灰に水を加えて粉末にした直後のもの）を撒布しその上に新しいわらを敷き、更に伝貧厩舎から出した敷わら及び厩肥を三―六尺程度の高さに積みその表面に消石灰を撒布した後新しいわら等で被いその上に土を被せて少くとも一週間以上放置醗酵させること。

『ロジール』は金木家畜保健衛生所で一本百円程度で撒布いたします。

なおこのロジールの使用法については家畜保健衛生所で詳しいことをお知らせします。

早期供出は期限に

本年度産米の早期供出はつぎの通り正式に決定されました。

一、奨励金の対象

つぎの規格のもので十一月三十日までに供出した全量。

（イ）農産物検査規定による四等以上の玄米

（ロ）水分含有量が十六％以上十七・五％以下のもので他の品位が四等以上の玄米

二、期別奨励金

第一期十月六日迄　石当一、〇〇〇円
　　表当　四〇〇円
第二期十月廿日迄　石当七〇〇円
　　表当二八〇円
第三期十一日十日迄石当五〇〇円
　　表当二〇〇円
第四期十一月卅日迄石当三〇〇円
　　表当一二〇円

〇本年の早場米は無制限に買入れ

供出した全量に対して奨励金が支拂われることになつています

去る九月十八日に県農業委員会の水稲検見班が来町作稲の状況をみて行きました。十月中、下旬には各市町村の供出割当が決定になるとのこと。給食はミルク毎日、オヤツ週二回、温食週一回。

卒業式には卒業証書、記念の等入れ、鳴海病院及び母の会等からの記念品が一ぱいあるそうです。

満三歳位からおるけれども小さい子は施設がないので無理だそうです。

窓から見える裏庭では子供たちは山に登り木登りを砂場に入り、小鳥のように飛び回り百四十名の子供たちがどこにいるのか分らぬ位です。

建物はうす暗く『雨降りの日等は電燈をつけなければ……』と、何不自由なく見える保母さんも悩みの種らしいです。

朝七時半退所は三時半、夏季冬季のお休みも措置児童は全然ないそうです。若い主任の保母さんからいろいろ御参考になるお話をとて戴き、帰りがけ広いお部屋のステージで二人の女の子が仲よくお遊戯の最中でした。胸のハンカチの上に二葉のパツチのつけてあるのが見える。

保母さん、子供さんたちに見送られ車中より手を振つて別れる。

次は下町の保育所へ。

私立弘前託兒所

在籍一三十名　保母四名

家庭訪問でもするような気分、主任の保母さんはエプロン姿でやさしいお母様。

入つたすぐのお部屋に子供達の枕位の大きさの角木が沢山あり角がすりへつて余程年数を経たものらしい。これは積木遊びに使うのだそうです。

その上のガラス戸棚には大きな縫いぐるみの手製の人形が三つ四つなかなか気の利いたおもちやばかり。

次のお部屋は窓下に二間程長くはりつけの子供用の黒板、子供達はしたくないものだ。

×　×

▲稲刈りといえば今年金木のトツプを切つた〝北海道早生〟は天候が順調であればもう二週間位は早く刈取れるということだつた。この道には十数年も御無沙汰してしまつた筆者ではあるが一体どんな品種であるものか知りたいと思いアツチコツチ駈ず廻つてみたところ『今頃時代遅れだよ』とアツサリと片付けられてしまつた。

〝北海道早生〟は二毛作しても経費倒れになり収穫量も少く品質もそんなによくないというしろものなるほどこれではアツサリ片付けられるのも無理はない。

ところが作つた人にきいてみたら『長所も短所もよく解つております。しかしながら毎年今頃になればお米はなくなるしお金も乏くなりどうにもなりませんから仕方御座いません…ハア来年もつくります』という。

早刈りではこれ以上の早生種はないというのでガツカリはしたものの『時代遅れだ』といつてアツサリ片付けてよいものだろうか。

×　×

▲金木町のお金の出所

それは〇割までがお百姓さんの懐中から出るのだ。

Kは一体何をしてるんだろうといわれながらも銀行、商店、農家と五日間ばかり昼夜の別なく散歩してみたところ、お百姓さんにお金がなくなれば『いつでもある』と思つていた銀行にもなくなるということが判つた。

×　×

▲九月という月は〝苦月〟にも通ずるのか毎年一番苦しい月だという。特に今年の九月は終戦後一番金が詰つているのだそうだ。そしてお百姓さんがその中でも最も甚しいということだ。

或る人にいわせれば『お百姓さんは無駄費いが多いしその上無計画過ぎる』と……又或る人は『そんなことをいつたところで無理だよ。それよりも〝手間に合う〟ような副業を町が心配し、もつともつと強力に助成援助してくれるべきだ』と……そして『お百姓さんにはいつでも現金が入るようにしてやれば何もかも自然によくなるのだ』という人もある。

それはいわれるまでもなくゴモツトモなことではある。

×　×

▲それでは『子守児童』と『副業の問題』に対して得た『最終』の結論はどんなものであるかといえば殆んどが申合せたように『それア……結局は〝金と政治の力〟でなければ……』というだけだ。

×　×

▲終戦後各指導層は『農村の経済生活の合理化』を叫び、先ず農村電化の問題を取上げ、金も政治も随分と走りまわつた。そして副業を飛び越えてそれを奨励し、それが流行の域にまで達した。

ところがその結果はどうであつたろうか。

『便利には便利だが〝時間とエネルギー〟に余裕が出来過ぎて部落の若い者が夜遊びする傾向が多くなつたし、その上電気と機械に馴れ過ぎて怪我人が出てと』という。

×　×

▲町は貧乏でも先ずお忙しい親御さん達から〝足手まとい〟にならぬようにと不完全ながらも保育所を開設はしたものの『さあ御利用下さい』と申しても肝心の人達はどう解釈しているのかわからないが敬遠してしまう傾向がある。

仮に『手間に合う』理想的な副業を奨励した場合でも、または町の財政が豊かになり各部落に保育所をつくつたとしてもそれを素直に受けこれをほんとに盛り上げ利用してくれる人がどの位あるだろうか。

×　×

▲『金と政治の力』それは強大なものである。

誰かがこんなことをいつていた。

人は人を使うべくして人に使われ、使われべくして人を使い、機械を造つてそれを動かすべくして使われている。また法を定めて法に縛られ、金をこしらえて金に苦しんでいる。

と、機械も法も金も皆人がつくつたもの……。

その機械も法も金もそして政治も『人』そのものの次第でどうにでもなるものではないだろうか。

九・三〇（S・K生）

「おがへんき」

▲眼の中に入れても痛くないほど可愛い吾が子に『おメみんたイぐネワラシだけやマいでコねば一番良いだネ』と忙しくなれば不用意にもらす親御さんがある。

×　×

▲去る九月十八日金木地区教職員組合教育研究大会で『……もしも……この子がいなかつたら』という子守児童の作文があつたと某小学校の先生が発表した。その児童というのは某部落のお百姓さんの子で農繁期に入れば乳吞子をオンブして登校するのだそうだ。

そろそろ稲刈りでお百姓さんはまたまた忙しくなり〝猫の手〟も借りたくなる頃……なんぼなんでも可愛い吾が子を〝ねこ〟以下には

子供の世界を見る

保育所のお母様方

九月二十二日（月）金木町保育所母の会々員一行が津軽バスで弘前市内の児童福祉施設を日帰りで視察したが果してどんな收穫があつたかその日の臨時記者一戸慶子さんの旅行記を拝見してみましよう

〇―〇―〇―〇

同業者は会員二十七名のほか保育所の工藤さんと運営委員会の木村委員長以下三名、計三十一名予定より十分遅れ朝六時四十分に出発する。

晴れた空の下を走る早朝の車は快よく車中のお母様方の表情は明るい。八時頃市立保育所前に着く。

前日からお待ちになつて下さいました高島先生の御案内で視察に入る。

弘前市立保育所

定員六十名、在籍七十名

保母四名（四十歳以上二名、二十五歳―三十歳二名）

新しい建物、あまり広くない庭にブランコ二、三……

屋内に入る。十二坪ほどの部屋はお勉強の部屋らしい。

机、椅子、各自の名札のついた整理ひき出し、オルガン等、周囲の壁は手工、図画等でびつしり、図画はさまざまクレヨンを走らせているもの、鉛筆で小さく花とかくもとか川とか電車とかの説明をつけ保母さんの熱心さが目に見える子供さんはなかなかお上手です。

次のお部屋は二十四坪、滑り台、シーソー、ラジオ等あり、子供達はブツツかる心配もなく自由に走り回つています。

以上の二部屋は四歳以上の五十名足らずの子供さん方のお部屋になつているのだそうです。こちらの方は若い二人の保母さんが、子供たちのお相手をしているようです

次の小さな二部屋は三歳以下の二十一名の子供たち。

壁には身体状況のグラフ表が貼つてあり、隣の部屋にはおつむやカバーが何枚も干してある。

これをお世話するのは中年位の保母さん、なかなか骨の折れるお仕事らしいです。

お菓子を喰べお茶を戴きながら保育所運営上のお話をきく。

1、同棟にある市立母子寮のお話

2、予算について（今年度は約九十万円）

3、衛生方面（月一回の健康診断トラホーム重一、軽二あり。悩みの種）

4、依託料（生活程度により種々金額無料、六割、最高五百円、最低五十円まで）

昨年九月に母子寮十月には保育所を開所『母子寮』の子供が二十名（未亡人の子）他の五十名は外部の家庭から子供で遠い所では本人の足で三十分位もかかる所から通つているとのこと。朝は八時半から始り午後五時退所、日曜祭日外年中休みなしになつているそうです。

冬支度ができているそうで爽しい感じが致しました。約一時間半位見学後、かわいい子供達にお別れして〝みどり保育園〟へ。

私立みどり保育園

在籍百四十名、保母四名

偕行社あと、鳴海病院の経営ここはその名にふさわしく緑に囲まれた壮々たる感じ。総坪数六千六百坪という広大な面積。昭和二十一年に開設、同察会もあり大きい子供は六年生とのこと。百四十名のうち措置児童五十五名、ほかは自由契約となつており保育料は五百円（委託料三百円、給食料百三十円、母の会費七十円）となつており子供さん達が持参納入するとのこと。給食はミルク毎日、オヤツ週二回、温食週一回。

卒業式には卒業証書、記念の等入れ、鳴海病院及び母の会等からの記念品が一ぱいあるそうです。

満三歳位からおるけれども小さい子は施設がないので無理だそうです。

窓から見える裏庭では子供たちは山に登り木登りを砂場に入り、小鳥のように飛び回り百四十名の子供たちがどこにいるのか分らぬ位です。

建物はうす暗く『雨降りの日等は電燈をつけなければ……』と、何不自由なく見える保母さんも悩みの種らしいです。

朝七時半退所は三時半、夏季冬季のお休みも措置児童は全然ないそうです。若い主任の保母さんからいろいろ御参考になるお話をとて戴き、帰りがけ広いお部屋のステージで二人の女の子が仲よくお遊戯の最中でした。胸のハンカチの上に二葉のパツチのつけてあるのが見える。

保母さん、子供さんたちに見送られ車中より手を振つて別れる。

次は下町の保育所へ。

私立弘前託兒所

在籍一三十名　保母四名

家庭訪問でもするような気分、主任の保母さんはエプロン姿でやさしいお母様。

入つたすぐのお部屋に子供達の枕位の大きさの角木が沢山あり角がすりへつて余程年数を経たものらしい。これは積木遊びに使うのだそうです。

その上のガラス戸棚には大きな縫いぐるみの手製の人形が三つ四つなかなか気の利いたおもちやばかり。

次のお部屋は窓下に二間程長くはりつけの子供用の黒板、子供達はしたくないものだ。

×　×

▲稲刈りといえば今年金木のトツプを切つた〝北海道早生〟は天候が順調であればもう二週間位は早く刈取れるということだつた。この道には十数年も御無沙汰してしまつた筆者ではあるが一体どんな品種であるものか知りたいと思いアツチコツチ駈ず廻つてみたところ『今頃時代遅れだよ』とアツサリと片付けられてしまつた。

〝北海道早生〟は二毛作しても経費倒れになり收穫量も少く品質もそんなによくないというしろものなるほどこれではアツサリ片付けられるのも無理はない。

ところが作つた人にきいてみたら『長所も短所もよく解つております。しかしながら毎年今頃になればお米はなくなるしお金も乏くなりどうにもなりませんから仕方御座いません…ハア来年もつくります』という。

早刈りではこれ以上の早生種はないというのでガツカリはしたものの『時代遅れだ』といつてアツサリ片付けてよいものだろうか。

×　×

▲金木町のお金の出所

それは〇割までがお百姓さんの懐中から出るのだ。

Kは一体何をしてるんだろうといわれながらも銀行、商店、農家と五日間ばかり昼夜の別なく散歩してみたところ、お百姓さんにお金がなくなれば『いつでもある』と思つていた銀行にもなくなるということが判つた。

×　×

▲九月という月は〝苦月〟にも通ずるのか毎年一番苦しい月だという。特に今年の九月は終戦後一番金が詰つているのだそうだ。そしてお百姓さんがその中でも最も甚しいということだ。

或る人にいわせれば『お百姓さんは無駄費いが多いしその上無計画過ぎる』と……又或る人は『そんなことをいつたところで無理だよ。それよりも〝手間に合う〟ような副業を町が心配し、もつともつと強力に助成援助してくれるべきだ』と……そして『お百姓さんにはいつでも現金が入るようにしてやれば何もかも自然によくなるのだ』という人もある。

それはいわれるまでもなくゴモツトモなことではある。

×　×

▲それでは『子守児童』と『副業の問題』に対して得た『最終』の結論はどんなものであるかといえば殆んどが申合せたように『それア……結局は〝金と政治の力〟でなければ……』というだけだ。

×　×

▲『金と政治の力』それは強大なものである。

誰かがこんなことをいつていた。

人は人を使うべくして人に使われ、使われべくして人を使い、機械を造つてそれを動かすべくして使われている。また法を定めて法に縛られ、金をこしらえて金に苦しんでいる。

と、機械も法も金も皆人がつくつたもの……。

その機械も法も金もそして政治も『人』そのものの次第でどうにでもなるものではないだろうか。

九・三〇（S・K生）

おことわり

1、紙面の都合上本号に掲載できず次号に回したのもありますから悪しからずお許し下さい。

2、第五号（前号）は八月分の記事で本号は九月及び十月の一部分になります。

次号は十一月五日発行の予定です。

3、菊地氏の後をお引受けしましたものの馴れるまでは相当不手際な点がでると思いますから御了承下さい。

4、本紙は無償で各家庭に配布されることになつておりますから念のため申上げておきます。

九月の野菜

		（小売値）
野菜		
ほうれん草	一把	五円
白菜	一貫	五〇〃
たまな	〃	五〇〃
ねぎ	〃	七〇〃
里芋	百匁	二五〃
薩摩芋	〃	八〇〃
茄子	一貫	八〇〃
大根	一本	五〃
せり	一束	一五〃

昭和27年度産米政府買入價格

玄米（正味　60瓩入）

区分	1等	2等	3等	4等	5等	摘要
新複式俵	3,155	3,120	3,060	3,000	2,850	
新　叺	3,170	3,135	3,075	3,015	2,865	

精米（正味　60瓩入）

区分	1等	2等	摘要
新複式俵	3,263	3,163	
新　叺	3,303	3,203	

糯米（正味　60瓩入）

区分	1等	2等	3等	4等	5等	摘要
新複式俵	3,605	3,570	3,510	3,450	3,300	
新　叺	3,620	3,585	3,525	3,465	3,315	

精糯（正味　60瓩入）

区分	1等	2等	摘要
新複式俵	3,768	3,668	12月10日までの買入俵
新　叺	3,783	3,685	一当り 480円

包装別價格

		摘要
新複式俵	60円	
新　叺	75円	

（1）町村完納した場合生産者に対し俵当り　40円

（2）町村完納し、超過供出した場合〃　1,000円

（3）県が完納し生産者の割当を越えて供出した分に対して　俵当り　200円